

## 折り紙の薦め

株式会社榎戸材木店  
会長 榎戸正人

NHK朝のテレビドラマ「ハゲハゲ……」ではなく「ばけばけ」が終わり、「風、薫る」が放映されています。次の朝ドラは国会を舞台にした「金、薫る」かも……などと書くと、また政治の話はダメとクレームが付きそうなので、今回は折り紙のお話。

折り紙などと言うと子供の遊びだと言われそうですが、そんなことはありません。インターネットで色々な情報を集めていると、「折り紙の折り方」などという情報サイトも出て来ます。面白半分に覗いてみると、書店で販売している折り紙の本にはない、興味深い作品に出合います。

歳を取ると手先を使う作業をしないとボケてくるので、100均で折り紙を買ってきてチャレンジしてみることになりました。写真の下の「クマさん」と「お魚」は比較的単純な方ですが、それでも一般的な折り鶴や奴さんなどの折り紙に比べると、なかなか難しい……

写真上の両側、ネコとウサギの折り紙はポチ袋になっていて、孫にお小遣いをあげるときに使えるそうです。これは中級クラス。上の段の真ん中、スーツにワイシャツ、ネクタイの折り紙は上級コースで、これはもはや指では折れない。虫眼鏡とピンセットの世界で、途中で投げ出したくなりますが、なんとか2時間かかりで折り上げました。これはとても、小さい子供には無理でしょう。

これらを考案しているのは専門の折り紙愛好家で、よくもまあ、こんなものを折り紙で作ろうと考えたものだと感心してしまいますが、これはも

はや趣味の領域を超えていて、本を出版したり折り紙教室を開いたりして収入を得ているのでしょうか。プロの折り紙師です。このレベルの折り紙になると最初にキチンと角と角を合わせて折り始めないと、折っているうちにドンドン誤差が出て来て、綺麗に折ることが出来ません。もはや、職人芸の世界です。

これは仕事の世界でも同様で、最初に適当に始めてしまうと作業を進めるうちにだんだんとつじつまが合わなくなり、早く終えてもいい加減な仕事で終わってしまいます。従業員に折り紙を折らせると、仕事は早いけど適当な性格の社員と、時間は掛かるけど丁寧な仕事をする社員を見分けることが出来るでしょう。それぞれの性格に合った仕事を与えることで生産性は上がり、会社の業績も向上します。

たかが折り紙ではありますが、なかなか奥が深いなあと思いつつ、新しい作品にチャレンジしていますが、家族や孫たちに全然ウケないのが悲しい……家庭菜園で野菜を作るくらい難しく、大変な作業なのですが。

